

# 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学第4期中期目標について

## 第3期中期目標期間の実績 ー平成30～令和5年度ー

### 1 教育研究等の質の向上

- ・全学科横断型カリキュラム「アートマネジメントプログラム」を開講し、総合文化センターやOPAM等と連携して実践的な学修活動を実施（H30～R4 延973名受講）
- ・R4年度まで高い就職率（98%）と進学率（99%）を達成。5年間で延546社の県内企業から求人があり、県内就職者は720名と若年者の県内定着に貢献
- ・実践型の学修活動「サービラーニング」や巡回演奏会、国内外の第一線で活躍するアーティストによる公開レッスン等、地域貢献活動を5年間で346回実施
- ・コロナ禍により、海外への短期留学（H30,R1,R4計101人）はR2年度からR3年度まで中止、協定校との現地交流（H30,R1計17回）はR4年度まで中止

### 2 業務運営の改善

- ・教員の定年退職時に、新たな学修ニーズに対応するための担当教員を採用することで教育体制を強化

### 3 財務内容の改善

- ・キャンパス整備時に積立金を取崩し、ピアノ等の備品を充実させたが、積立金の目標残高は確保

### 4 自己点検及び外部評価

- ・教育研究等の質の向上は5年連続でS評価（H21年度から14年連続）

### 5 その他業務運営に関する重要事項

- ・キャンパスのリニューアルを令和2年度に完了
- ・学生に対する教員のハラスメント行為が発生したため、懲戒処分（R4年度）

## 大分県地方独立行政法人評価委員会委員の意見（R5.10.25開催）

- ・教育研究等の質の向上に向けて取り組んだ結果、学生や教員がコンテストで受賞したこと、就職率の向上につながったことは評価できる。第4期も継続した教育の質の向上が望まれる。
- ・少子化への対応、公立大学としての役割・責務、芸術系と人文系の併設、2年間という就学年数を念頭においた指標の設定が重要
- ・国際交流の推進を積極的に行い、魅力ある大学づくりに努めてもらいたい。
- ・施設や設備を県民へも開放し、地域社会へ貢献することを期待する。
- ・教員が地域貢献につながる成果を上げられるよう、教員の能力向上や研究環境の整備に関する取組が必要
- ・ハラスメント対策については大学側の取組だけでなく、県もしっかりとモニタリングすること。

## 第4期中期目標のコンセプト

### 1 芸術系と人文系を併せ持つ唯一の公立短期大学としての特色を活かして、若年者を県内へ呼び込み、育て、県内への定着を図る。

- （1）魅力ある大学づくりとPRを進め、県内外から選ばれる大学を目指す。
- （2）県内各地に積極的に外向く学修を展開し、地域に求められる人材、地域に関心を持つ人材を育成する。
- （3）学生の県内就職を促進し、県内企業のニーズに合った即戦力人材を定着させる。

### 2 アフターコロナ等の新たな課題への対応

コロナ禍で落ち込んでいた国際交流活動の展開、リニューアルしたキャンパスの一般利用の拡大、社会人の学び直し（リカレント教育）、教職員のコンプライアンスの遵守

## 第4期中期目標のポイント

### 1 教育研究等の質の向上

#### （1）県内外からの若年層の呼び込み

- ・魅力ある短大としてのブランド戦略を構築するとともに、各種学外活動やSNS、教員の高校訪問等で積極的に情報発信して、県内外から多くの志願者を確保

#### （2）社会に求められる人材を育成

- ・新たにアート思考やデザイン思考の教育を学科横断的に展開し、課題発見・解決スキルを持った人材を育成
- ・サービラーニングを始めとする実践型の学外活動等を推進し、学生が県内で働くことへの関心を高めるとともに、地域課題の解決を通じて地域の大学への好感度を向上

#### （3）県内への人材定着を推進

- ・インターンシップや面接支援など地元企業と連携した丁寧な就職支援を実施し、より多くの学生の県内就職を促進

#### （4）アフターコロナ等の課題への対応

- ・学生の海外派遣や海外からの留学生受入、第一線で活躍する海外アーティストの招へい等、積極的に国際交流を推進
- ・企業や社会人から求められるデジタル技術などの学習機会を提供

### 2 業務運営の改善

- ・海外からの留学生や障がいを持った学生の受入拡大等に対応できる体制を整備

### 3 財務内容の改善

- ・イベント開催のための募金活動やキャンパスの貸出拡大等により、外部資金を獲得
- ・経営の効率化に不断に取り組み、災害等不測の事態にも対応可能な積立金を確保

### 4 自己点検及び外部評価

- ・法改正に伴い廃止される年度毎の外部評価に代わり、成果指標を設定  
※4年度目と最終年度の外部評価は継続

### 5 その他業務運営に関する重要事項

- ・教職員のコンプライアンス遵守の再徹底